

福泉寺の『桜』

桜は、市野瀬地区の福泉寺境内にあります。

福泉寺は国道56号線、片坂の登り口辺りのすぐ下に位置しています。

境内に行くには、市野瀬地区に入り、川沿いの道をまっすぐに進んでください。奥まった所にある橋のそばに案内板があり、そこから左手の坂道を歩いて登ると小高くなっている境内に着きます。



※昭和50(1975)年佐賀町文化財指定。

桜の紹介

- 樹 齢 400年(推定)
 - 胸高直径 150cm
 - 樹 高 12m
- 大変立派な木です。

桜の管理

木の下に立つと、他の木との大きさの違いだけでなく、木の経てきた長い歴史を感じます。

桜は、古くから福泉寺の銘木として、地域住民の手により大事に守られてきました。

今も、寺境内は、地区の人の手により、いつもきれいに下草が刈られ管理されています。

管理は、地区の住民の輪番による5人当人制で、当人が桜の下草刈り、寺の修理を行っています。

こんな努力があるから桜が400年も生きてこられたのではないでしょう。

また、地区では4月の第1日曜日には、桜の花の下、地区総出で敬老会を行うそうです。

花の見ごろ

桜の見ごろは、3月の終わりから4月の初め頃で、通常の山桜よりは少し遅く咲くそうです。

山桜がほころび始めたころにぜひ立ち寄ってみてください。400年咲いてきた桜に会うことができます。

遠く国道から眺めるのもいいですが、近くで木の存在を感じながら見るのもいいのではないのでしょうか。

また、市野瀬地区から車で10分ほど山の方に入った所に、轟の滝という名所もあります。桜と合わせてぜひ立ち寄りください。



福泉寺

佐賀町農民史によると、福泉寺はすでに慶長時代(1600年頃)に町内に存在していたという記録が残っており、大変歴史の古いお寺です。

市野瀬地区では、10年ほど前から仏合祭として、福泉寺をはじめ、お大師様、不動様、子宝地藏と一緒に、2月24日と7月24日の、それぞれ一番近い日曜日にお祭りを行っています。この時の進行も当人が務めます。

寺も桜と同様、地区により大事に管理されています。



このシリーズに関するお問い合わせ

教育委員会 文化振興係(大方あかつき館内)

☎43-2110(直通)